

# 福井県の温室効果ガス排出量（平成20年度）

## 福井県の温室効果ガスの総排出量

- ・平成20年度（2008年度）の温室効果ガス排出量は、871万3千t（二酸化炭素換算）であり、基準年度である平成2年度（1990年度）から1.3%減少し、前年度（平成19年度）と比較して4.3%減少となっている。
- ・平成12年度（2000年度）の基準年度比9.5%増をピークに温室効果ガスの排出量は低減傾向にあり、平成20年度は、排出量の算定を開始した平成9年度以降、初めて基準年度を下回る排出量となった。
- ・また、温室効果ガス排出量の95.4%を占める二酸化炭素の平成20年度の排出量は、831万6千tであり、基準年度である平成2年度（1990年度）から0.5%増加し、前年度（平成19年度）と比較して4.2%減少となっている。
- ・排出量減少の主な原因としては、金融危機の影響による平成20年度後半の急激な景気後退に伴う産業部門のエネルギー需要の減少が挙げられるが、県民運動「LOVE・アース・ふくい」による省エネ活動の推進などの県独自の施策も家庭や事業所からの排出抑制に寄与しているものと考えられる。

（参考）

平成20年度の福井県内の原子力発電所で発電された実績値に基づくCO<sub>2</sub>排出削減量は約5,000万トンと試算される。（国の温室効果ガス排出量削減への貢献：3.9%）

## 福井県の温室効果ガス排出量の推移

単位：千t - CO<sub>2</sub>（カッコ内はH2年度比）

